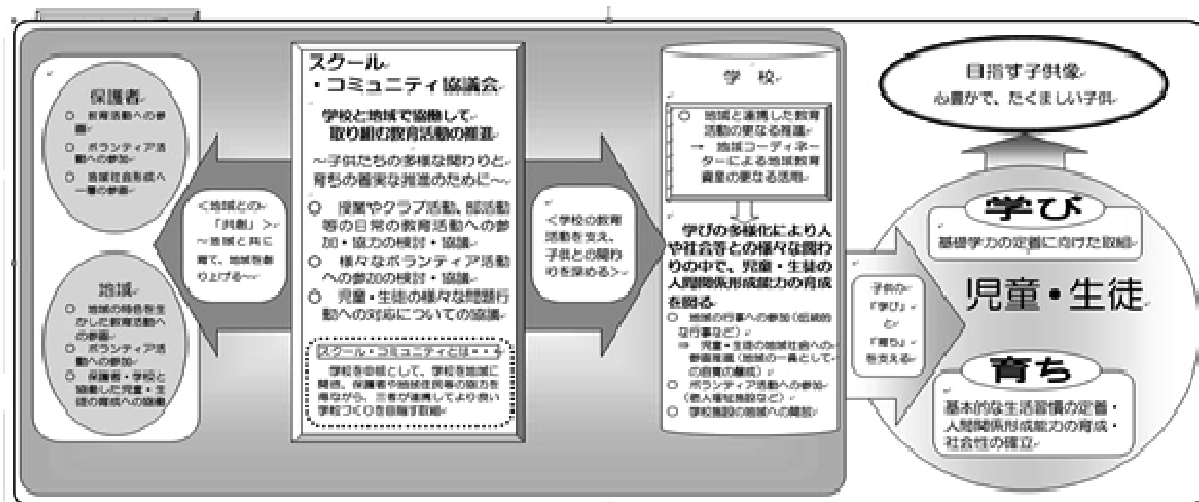


◆事業方針（計画等における位置づけ）

本市では、「地域学校協働活動推進事業」を活用し、「府中版コミュニティ・スクール事業」を実施している。文部科学省が推進するコミュニティ・スクールを範とし、地域住民の学校運営への参画を組織的に実施できるようにすること、コーディネーターを指名することによる、ボランティアの方々と学校との連携を強化すること、学校を核とした地域の活性化を図ることなど、学校と地域との双方の発展を目指している。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）



◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

「ふちゅうの教育」（教育委員会広報）に、「府中市のコミュニティ・スクール」と題したシリーズ連載を行っている。広報発行1回当たり2校の実践を紹介することを通して、各市立学校での取組状況や特色を共有できるようにするとともに、地域や保護者への周知を図っている。

また、各学校でホームページでの活動紹介や学校たより等を発行するなどして、様々な広報を実施している。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

コーディネーター研修会により市内の取組の紹介や情報交換を実施した。学校と地域との連携について、市立学校での先進的な事例を共有する機会とするとともに、自校での今後の取組の展開を協議することを通して学校に対する事業理解促進を図った。

◆成果

取組5年目を迎え、以下のような成果が見られている。

【活動の幅の広がり】

『地域防災』、『学習支援』、『地域人材を活用した授業実践』など、スクール・コミュニティ協議会が関わる活動の幅が広がっている。

【活動の内容の充実】

地域の人材だけでなく、地域の大学や専門学校、地域の企業との連携により、学校の教育活動や地域連携の質が高まってきている。

【学校と地域との連携の深化】

保護者や地域住民による芝生ボランティアやゲストティーチャーとしての教育活動支援が充実してきているとともに、学校による地域清掃や地域行事への児童・生徒の参加が促進され、学校と地域との連携が深まってきている。

◆課題・展望

これまでのスクール・コミュニティ協議会における活動を充実させるとともに、地域学校協働活動を活用しながら、文部科学省が推進するコミュニティ・スクールへの移行に向けた取組を検討すること。